

令和8年度一般選抜後期日程入学試験
総合問題
採点のポイント

【出題の意図】

- アドミッションポリシーに基づき、志願者の能力・志向性・適性を多角的に評価することを目的として出題した。
- 学部、学科にかかわらず、本学で学ぶために必要な基礎学力が備わっていることを前提として、南米の先住民族、動物と人間との関係性、会話の形式の言語間差異、異なる社会における自己観の形成などについて書かれた文章をもとに、読解力・理解力・論理的思考力・文章構成力などを評価することを意図して問いを設定した。

問1

〈解答例〉省略

〈採点のポイント〉

- 筆者の持つ「ビギー」の概念の変化を本文の内容に即して説明できている。
- 問いに対する解答として必要十分な情報を、所定の文字数内で、誤字脱字、ねじれの無い適切な文を用いて説明、記述している。

問2

〈解答例〉省略

〈採点のポイント〉

- 下線部(イ)「エゴと思い込みと仮想の愛とのはざまをふらふら迷いながら、それでも考えることをやめられない」の内容を、本文中の他の段落からの具体例を挙げながら説明できている。
- 問いに対する解答として必要十分な情報を、所定の文字数内で、誤字脱字、ねじれの無い適切な文を用いて説明、記述している。

問3

〈解答例〉省略

〈採点のポイント〉

- 「対話」と「共話」という語を筆者の主張を踏まえて正しく用いている。
- 言語によって自他の違いの度合いが異なるという筆者の主張が理解できている。
- 問いに対する解答として必要十分な情報を、所定の文字数内で、誤字脱字、ねじれの無い適切な文を用いて説明、記述している。

問4

〈解答例〉省略

〈採点のポイント〉

- 「相互独立性」と「相互依存性」という語を筆者の主張を踏まえて正しく用いている。
- 西欧と非西欧との対比についての筆者の主張を正しく説明できている。
- 問いに対する解答として必要十分な情報を、所定の文字数内で、誤字脱字、ねじれの無い適切な文を用いて説明、記述している。

問5

〈解答例〉省略

〈採点のポイント〉

- 課題文中の具体例に言及している。
- 「あたりまえ」や「思い込み」を疑うことに対する自身の考えが論理的に説明できている。
- 問いに対する解答として必要十分な情報を、所定の文字数内で、誤字脱字、ねじれの無い適切な文を用いて説明、記述している。